輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind

好季節。空を見上げよう！＆運動会に期待する子供の姿!!

－Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

先週は秋らしい晴天でした。1年生国語の教材に「くじらぐも」というお話があります。この作品は、一年二組の体育の時間、空に、白い大きなくじらぐもが現れ、一年二組の子どもたちと先生を乗せて空を飛ぶという何とも夢のある楽しいお話です。先週、1年生が運動場で、このお話の場面を楽しく学習していました。(**「くじらぐも」本文より）【「よしきた。くものくじらにとびのろう。」男の子も、女の子も、はりきりました。みんなは、手をつないで、まるいわになると、「天までとどけ、一、二、三。」とジャンプしました。でもとんだのは、やっと三十センチぐらいです。「もっとたかく。もっとたかく。」と、くじらがおうえんしました。「天まで　とどけ、一、二、三。」こんどは、五十センチぐらい　とべました。「もっとたかく。もっとたかく。」と、くじらがおうえんしました。「天まで　とどけ、一、二、三。」そのときです。いきなり、かぜが、みんなを空へふきとばしました。そして、あっというまに、せんせいと子どもたちは、手をつないだまま、くものくじらにのっていました。】**くじらが言葉を話し、空を飛ぶという現実にはあり得ない出来事ですが、想像力豊かな1年生の子供達にとっては、とっても楽しい物語の世界を満喫できます。その様子を見ながら、私も思わず空を見上げました。どこまでも続く青空、正に秋晴れでした。

その時、今の子供達は、「空を見上げること」って、よくあることなのかな。空をぼーっと見上げる、空を見上げて空想する、そんな時間・経験・体験があるのかな、そんなことをふと思いました。何かの新聞で「大人になってから、空を見上げることが少なくなった。少年の頃は、空に見入ることがしばしばあった。」という記事を読んだのを思い出しました。そういえば、小学校の運動場のジャングルジムの上で休み時間、放課後、ぼーっと空を見ていたことも確かにあったかなと思います。その時、何を思い、何を考えていたかははっきりとは覚えていませんが･･･。空を見ていると、何か心が吸い取られていく感じがしますね。天高く、青空がとても清々しい季節、ゆっくりと空を眺めることも、時にはいいのかもしれませんね。

さあ、こんないい季節に今年は運動会ができます。確かにコロナ禍の影響によるものですが、例年なら5月開催。学校だより10月号にも書かせていただきましたが、久しぶりの秋開催です。ものは考えようです。子供達にはこの機会をチャンスと捉え、しっかりと取り組んで欲しいと思っています。運動会は、非常に大きな価値ある学校教育活動です。運動会では、子供一人一人が全力で輝いて欲しいと願っています。期待する姿は、主体的・意欲的に取り組む姿、つまり、運動会練習に意気揚々と取り組む姿です。**大切にしたい姿は５つ。**それは、**①どんな時も決して下を向かない姿②個人の技能を高めようと努力する姿③授業開始・終了時刻をきちんと守り時間管理ができる姿④集団としての美しさを求める姿⑤疲れた時にがんばる姿です。**運動会は、子供達にとって断崖絶壁です。子供達に求められる姿は、極めて高いものです。しかし、**それは決して超えられない壁ではありません。**それを超えるために日々努力を惜しまないこと、超えた先に見える新しい世界を中番小学校児童全員に見て欲しいと願っています。その運動会は4週間後（10 月 30 日）です。最近、運動場に、体育館に、運動会の雰囲気が漂ってきています。本格的な練習はこれからとなりますが、ご家庭でも子供達への声援、応援をよろしくお願い申し上げます。

感染症対策については、引き続き、**「恐れず、正しく、適切に」対応し、感染症対策（朝の検温、マスクの着用【不織布マスクを推奨】、手洗い、手指の消毒、３密回避等）を徹底**します。保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症についてご心配なことがございましたら遠慮なくご相談ください。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。